

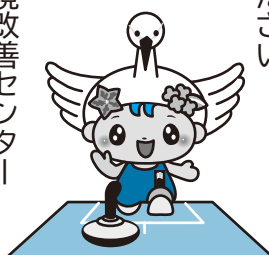
第11回自治会親善ユニカール大会・練習会に参加しませんか

問合せ 生涯学習課 ☎(81)3907

地域の親睦と健康の増進を図るため、次のとおり第11回自治会親善ユニカール大会を開催します。また、大会出場者に限らず誰でも気軽に参加できる練習会も開催します。健康づくりや地域交流に活用してください。

大会 7月5日(日)8時50分～12時30分 受付8時30分
会場 中村小学校体育館
申込み 大会は、各自治会へお申し込みください。

練習会
 ① 6月14日(日)9時30分～
 ② 6月21日(日)9時30分～
 ③ 6月24日(水)19時～
 ④ 7月1日(水)19時～
会場
 ①井ノ口小学校体育館②④農村環境改善センター
 ③井ノ口公民館
申込み 練習会は、各開催日の2日前までに生涯学習課へお申し込みください。



ユニカールとは

ユニカールは、冬季オリンピック種目であるカーリングの陸上版です。特殊なカーペットの上で、ストーンを滑らせるように投げ、円形の目標地点に、より近づけることを競うゲームです。相手チームのストーンをはじき飛ばしたり邪魔したり、味方チームのストーンを軽く押し、助けたりしても構いません。6回の合計得点で勝敗が決まります。ルールが簡単なので子どもから大人まで楽しめるスポーツです。

中井町の生物多様性とは？



問合せ 産業環境課 ☎(81)1115

アカギカメムシについて、広報での呼びかけに応じて情報をお寄せいただいた結果、動向把握に大きく役立ちました。ご協力に深く感謝いたします。

「生物多様性」とは、さまざまな生き物が共に暮らし、自然のバランスが保たれている状態をいいます。多くの生き物がそろっている地域ほど、自然環境が健全であることの証しになります。

中井町は「里都まち」を掲げ、美しい緑に囲まれた暮らしやすい町として親しまれてきました。この豊かな自然を将来へ引き継ぐため、町では生物多様性を生かした特色あるまちづくりを進めています。その一環として、現在、約10年ぶりとなる生物多様性モニタリング調査を実施しています。生き物の種類や数の変化を継続的に把握し、その結果に応じて環境を整えていくことが、生物多様性を守るうえで欠かせないためです。

生物多様性が高い地域には、特別な自然環境に依存する生き物や、自然のバランスが保たれた場所にはしか生息できない絶滅危惧種が分布することがあります。しかし、こうした生き物を具体的に紹介すると、乱獲や密猟を招くおそれがあります。また、町の天然記念物に指定すると、生息地が特定されやすくなる心配もあり、慎重な対応が求められます。

一方で、「その地域に本来いるべき生き物がきちんとそろっている」という事実そのものが、生物多様性の豊かさを示す大切な指標になります。絶滅危惧種のように、生息地への配慮が必要な生き物の名前を挙げなくても、生物多様性の状態を伝えることができ、自然環境を損なう心配もありません。

とはいえ、そこに暮らす私たちにとっては、日々見慣れた風景のため、生物多様性の価値を実感しにくいかもしれません。そこで次号からは、中井町の自然を代表する「草地」「雑木林」「水辺」の3つの環境を取り上げ、それぞれに“そろっている生き物”を手がかりに、町の自然が持つ意味と魅力を紹介していきます。



©Masashi Enju,2026



©Masashi Enju,2026

ニホンアマガエルのオタマジャクシは水生(左)、大人(右)になると陸生となり草地や林のへりで生活するようになります。自然環境が繋がっていないと生息できない代表例です。